

会報

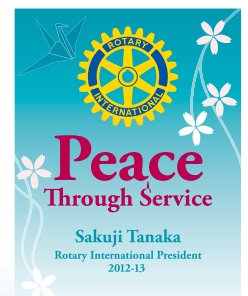
過去に学び
次世代への継承

2012~2013年度 会長 黒島 一生

第2699回 2月26日(火)

2012~2013

奉仕を通じて平和を
心・家族・地域・世界に平和の恩恵を



本日のプログラム

「市電の歴史について」

函館市企業局交通部 主査 湊 公宏 氏

次週のプログラム 3月5日(火)

「函館の地価について」

森元 浩 会員

- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL (0138) 26-8181 (代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチビル4F TEL (0138) 23-3870 FAX (0138) 22-2251
- 会長/黒島一生 ● 副会長/戸嶋浩 ● 会長エレクト/池垣信一
- 幹事/佐藤真一 ● 副幹事/五十嵐正
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2698回例会 2013年2月19日(火) 天候 曇

月間テーマ 世界理解月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 黒島 一生 会長

■会長報告

1、23日函館大学にてローターアクト地区協議会が開催されます。当クラブが提唱しております函館大学ローターアクトクラブがホストクラブとして行います。

■幹事報告

- 1、先日FAXにてIM並びに移動例会のご案内をいたしました。当クラブ4月16日例会を4月20日IM並びに合同例会へ変更いたします。
- 2、例会終了後理事会を開催いたします。

寛容 (Toleration)

ロータリーの初めは友情を求めてお互いに助け合う「相互扶助」という生臭いものであったが、次第にお互いの弱さも含めて、たどて不本意であったとしても受け入れる大きな心が生まれ、ロータリーの友情として今日のクラブ奉仕(親睦)を支える理念である「寛容の精神」となっています。この「寛容」こそがロータリーの「きも」であります。これはポール・ハリスの有名な次の一節によります。「私が、神の摂理により、大きなコロシアムに立ち、あらゆるロータリアンを前にして一言述べた機会に恵まれることになったとしたら、私は何のためらいもなく、あらん限りの声で叫ぶでしょう。『寛容!』と」

「ロータリーの『きも』と『からくり』」

副会長 戸嶋 浩 会員



ロータリーの創立

1905年(明治38年) シカゴで誕生 ポール・ハリス。

1920年(大正9年) 日本のロータリーが東京で誕生 米山梅吉氏。

1957年(昭和32年) 函館東の誕生 渡辺熊四郎氏

会員の3大義務

例会の出席: クラブ奉仕の場

会費の納入: クラブ運営・奉仕活動の資金源

雑誌の購読: ロータリーの知識、奉仕活動などの宝庫

超我の奉仕 (Service Above Self)

ロータリーの第1標語 1950年のデトロイト大会で承認。最初は「会員同士に限定されていた相互扶助(取引)を、他の人たちにも開放しよう」という職業奉仕の現実的なスローガンであったのが、のちにこれを人類愛に基づいた高次元のスローガンと誤解した人たちが「自己犠牲に基づく他人への奉仕」と勝手な解釈をつけ、さらに自己犠牲では困るとして、「自己の存在を認めた上で、他人のために奉仕する」という意味合いのスローガンに変わったと考えられ、平たく言えば「奉仕第一・自己第二」ということです。*奉仕の理念 (Ideal of Service)

最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (One Profits Most Who Serves Best)

ロータリーの第2標語 シェルドンの作「自分一人で商取引を独占するのではなく、他の人たち

にも分け与える必要がある」という職業奉仕の根幹をなすスローガンとして重要である。

入りて学び、出でて奉仕せよ

これがロータリーの「からくり」です。「入りて学び」とは、例会に出席して親睦、友情と思いやりの理念である「寛容の精神」に支えられたクラブ奉仕を学ぶことからすべてが始まります。そしていろいろな職業から選ばれた会員が**例会に出席して、奉仕のこころを学び、自己を改善して、自分の職業に役立て実践する**とうことが最も大切なことと言えます。「出でて奉仕せよ」ですが、ロータリーはいろいろな奉仕活動の機会を与えてくれるところで、決して奉仕そのものを目的とする団体ではありません。奉仕の実践から学んだことを会員自身の職業を通じて社会に貢献するという原理・原則があります。すなわち「**職業奉仕**」は**会員各自の職業を通じての個人の奉仕 (I serve)**であり、**みんなで一緒にやろう (We serve)**ということではありません。これがロータリーの特徴であり、他の奉仕団体とは明らかに違うところです。すべての実践はいわゆる職業奉仕に帰するわけで、「**職業奉仕こそロータリーの金看板**」とされているわけです。

ロータリーとは「寛容」をもって、「入りて学び、出でて奉仕する」機会を提供してくれるところであり、ロータリーはあなたを磨き輝かせます。楽しんだもの勝ちといえます。

以下ロータリージャパンより抜粋

2月 世界理解月間 (World Understanding Month)

1905年2月23日は、ポールハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」と指定されています。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。また、2月23日の創立記念日は、世界理解と平和の日 (World Understanding and Peace Day) と定められ、各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。さらに2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を協調することを決議しました。

「世界理解と平和週間 (2月23日～3月1日)」 (World Understanding and Peace Week)

1905年2月23日は、ロータリーの創始者ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日です。この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」(World Understanding and Peace Day)として遵守されます。この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければなりません。理事会は、この2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しています。

■ニコニコボックス

黒島会長、佐藤真一幹事 戸嶋副会長 本日の卓話よろしくお願ひします。

今井会員 会員拡大キャンペーン終盤ですのでよろしくお願ひします。

渡辺友子会員 親睦活動委員会の皆様、ごくろう様です。

平井会員 皆さま おつかれさまです。

■広告料 嶋田法律事務所 平井喜一会員
(尙)ローハイド 明本修一会員

■出席報告

- ・2月19日(火) 46名中出席34名(免除1名)
- ・2月5日(火) 出席率80.43%

市内他クラブ プログラム

2月27日(水) 函館北RC 夜間例会
2月28日(木) 函館RC 卓話
3月1日(金) 函館五稜郭RC
「私の函館の留学生活」 朱金暁氏
3月4日(月) 函館亀田RC 卓話

◆テレフォンサービス 26-3170◆

労働行政事務代行 原事務所

原 隆俊 会員

中島町17-1 電話 53-5555

三光工業(株)

林 完治 会員

田家町2-32 電話 41-1504